

平成 2 5 年度

北海道立生涯学習推進センター
運 営 計 画

北海道立生涯学習推進センター

目 次

1 運営の基本方針

- (1) 基本方針 ----- 1
- (2) 機能 -----

2 運営の重点

- (1) 調査・研究 ----- 2
- (2) 指導者の養成・研修 ----- 2
- (3) 学習情報の提供・相談 ----- 2
- (4) 学習機会の提供 ----- 2
- (5) 教育メディアの利用促進 ----- 2

3 予算の概要 ----- 3

4 事業の実施に関する年間計画

- (1) 調査・研究 ----- 4
- (2) 指導者の養成・研修 ----- 5～6
- (3) 学習情報の提供・相談 ----- 7～8
- (4) 学習機会の提供 ----- 9
- (5) 教育メディアの利用促進 ----- 10

5 広報計画

- 広報計画 ----- 11

1 運営の基本方針

(1) 基本方針

北海道立生涯学習推進センターは、本道における生涯学習振興の拠点施設として、市町村や高等教育機関及び産業界と連携を図りながら、社会の進展や地域の要請にこたえる事業を総合的に行い、道民のさまざまな学習が促され、それらの活動が豊かに展開されるよう支援します。

(2) 機能

ア 調査・研究

生涯学習の推進に関する調査研究を行うとともに、その成果の普及に努めます。

また、生涯学習に関する研究資料の収集及び保存に努めます。

イ 指導者の養成・研修

生涯学習を推進する有志指導者の養成を行うとともに、生涯学習関係職員等の資質向上を図るため、各種研修を行います。

ウ 学習情報の提供・相談

生涯学習に関する情報の収集及び提供を行うとともに、各種相談に応じます。

また、家庭教育支援及び市町村行政機関関係者等への支援を行います。

エ 学習機会の提供

新しい北海道を創造する人づくり・地域づくりに関する学習機会の提供を行います。

オ 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の収集・整備・貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援します。

2 運営の重点

(1) 調査・研究

生涯学習社会の構築に向けた調査・研究を実施するとともに、生涯学習関係職員等に対する総合的な相談活動の充実に努める。

ア 生涯学習の振興及び当面する課題に関する調査・研究の実施

イ 生涯学習関係職員等に対する企画・研究相談の実施

(2) 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員等を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成に努める。

ア 生涯学習・社会教育の専門的な知識・技術に関する各種研修の実施

イ 自主プログラムに対応した受入れ指導の実施

ウ 各種団体等の要請に応じた職員派遣の実施

(3) 学習情報の提供・相談

北海道生涯学習情報提供システムを活用し、総合的な学習情報の提供と各種相談の充実に努める。

ア 北海道生涯学習情報提供システムによる生涯学習情報の提供の実施

イ 生涯学習情報紙の充実

ウ 道民の生涯学習活動を支援する学習相談の実施

(4) 学習機会の提供

道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材の育成を図る道民カレッジ事業の充実に努める。

ア 道民カレッジ事業の趣旨に賛同する高等教育機関、市町村、民間教育事業者等との連携の促進

(5) 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の貸出しを通じ、道民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習活動の支援に努める。

ア 現代的課題等に対応した視聴覚教材の収集・整備・貸出しの実施

イ インターネット等による視聴覚教材活用の普及・啓発の実施

3 予算の概要

(単位：千円)

区分	事業名		25年度予算額	24年度予算額	増減	備考		
センター費 (運営費)	運営費 (a)		1,031	1,033	△ 2			
	維持費 (b)		664	8,238	△ 7,574	情報システム(ASP)経費移行による減		
	運営費合計(a+b+c)		1,695	9,271	△ 7,576			
センター費 (事業費)	調査研究事業		690	613	77			
	研修事業		1,207	1,402	△ 195			
	学習情報提供・相談事業		3,510	3,905	△ 395			
	設備整備費 (視聴覚教材・情報交流広場図書整備)		1,454	1,526	△ 72			
	事業費合計(d)		6,861	7,446	△ 585			
センター費合計 A (a+b+c+d)			8,556	16,717	△ 8,161			
カレッジ事業費・視聴覚センター事業費	委託	道民カレッジ事業費委託	運営経費	6,438	6,438	0		
			視聴覚センター事業費	117	117	0		
			カレッジ事業費	31,296	32,156	△ 860	出前講座から地域活動推進講座への移行等による減	
	直営	検討委員会	託料	委託料合計 (e)	37,851	38,711	△ 860	
				検討委員会経費	381	1,113	△ 732	カレッジ運営委員会の廃止による減
	業費	託料	検討委員会	検討委員会経費合計 (f)	381	1,113	△ 732	
				カレッジ事業費・視聴覚センター事業費合計 B (e+f)	38,232	39,824	△ 1,592	
総計 (A+B)			46,788	56,541	△ 9,753			

4 事業の実施に関する年間計画

(1) 調査・研究

ア 調査・研究

研究課題	研究の概要	
	研究テーマ	内 容
生涯学習の振興に関する調査研究	地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究	地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館等の施設に加えて、新たな学習活動の広がりを創出するために高等学校等を地域の拠点とした学習プログラムを開発する。
当面する課題に関する調査研究	学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究	市町村（広域を含む）やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、学習成果を活用して地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する学習プログラムを開発する。

イ 企画・研究相談

事業名	期 日	対 象	内 容
企画・研究相談	通 年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、社会教育の推進に関すること。 ・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。 ・生涯学習、社会教育の文献・資料に関すること。

(2) 指導者の養成・研修

ア 主催研修事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
課題対応型 学習活性化 セミナー	札幌市 9月5日(木) ～6日(金) (2日間)	40名	市町村・市町村教育 委員会職員、各種審 議会委員、各種指導 者、民間団体(NPO、ボ ランティア等)関係者、 まちづくり活動実践者等	近年求められる現代的課題 への関心を高め、課題の解決 に向けた主体的な行動を促す 学習活動を活性化するため、 他機関や団体等との連携・協 力を含めた具体的な方策に関 する専門的な知識や技術の習 得に関する研修を行う。
遠隔学習 プログラム 研修講座	札幌市 10月25日(金) (1日間)	30名	市町村・市町村教育 委員会職員、学校職 員、民間団体(NPO、ボ ランティア等)関係者、 学習リーダーのICT推 進担当	本道のあらゆる場所で、住 民に充実した学習機会を提 供するため、ICT等を活用 した遠隔学習プログラムの 企画・実施ができる指導者 (学習コンテンツを活用でき る人材)を養成する。
生涯学習 推進基本 講座	道央会場 俱知安町 12月5日(木) ～6日(金)	20名	市町村・市町村教育 委員会職員、各種審 議会委員、生涯学習 関連施設職員等	人づくりと地域づくりに資 する生涯学習を推進する体制 整備としての計画策定・評価 及び事業の企画・評価等に関 する基本的・実務的な知識や 技術について理解を深めるた めの研修を行う。
	道南会場 函館市 10月18日(金)	20名		
	道北会場 旭川市 7月5日(金)	20名		
	道東会場 帯広市 6月21日(金)	20名		
生涯学習推進 専門講座	札幌市 11月7日(木) ～8日(金) (2日間)	20名	市町村・市町村教育 委員会職員、各種審 議会委員、生涯学習 関連施設職員等	人づくりと地域づくりに資 する生涯学習を推進する体制 整備としての計画策定・評価 及び事業の企画・評価等に関 する専門的な知識や技術につ いて理解を深めるための研修 を行う。
地域生涯学習 活動実践交流 セミナー	札幌市 平成26年 2月13日(木) ～14日(金) (2日間)	200名	市町村・市町村教育 委員会職員、各種審 議会委員、生涯学習 関連施設職員、民間 団体(NPO、ボラ ンティア等)関係者、 生涯学習実践者等	本道における生涯学習・社 会教育の一層の推進を図るた め、国の動向や関連施策等 について理解を深めるととも に、実践事例の交流を通し、 地域における生涯学習活動推 進上の課題解決を図るための 研修を行う。

イ 自主研修団体受入事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
自主研修 団体受入	通 年	—	市町村・市町村教育 委員会職員、生涯学 習・社会教育関係団 体職員等	生涯学習・社会教育関係者 等が行う自主的な研修に対す る助言や指導等を行う。

ウ 職員派遣事業

事業名	期 日	定 員	対 象	内 容
職員派遣	通 年	—	「職員の講師派遣に 関する取扱要領」に 基づく対象団体が主 催（主管）する研修 会等	生涯学習・社会教育に関す る研修会等を主催する団体か らの要請に基づき、職員を派 遣し、研修会等において指導 や助言等を行う。

(3) 学習情報の提供・相談

ア 学習情報の提供

事業名	期 日	対 象	内 容
ホームページ『生涯学習ほっかいどう』	通 年	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	道民の様々な学習活動を支援するため、インターネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報のポータルサイトを運営する。 URL http://manabi.pref.hokkaido.jp/ 提供情報 【生涯学習情報データベース】 ・講座・講習会、施設・機関、講師・指導者等 【生涯学習の相談窓口】 ・生涯学習相談室「まなびウイング」 【家庭教育支援・子育て支援】 ・子育てワンポイントアドバイス ・家庭教育相談「子育てカウンセリング」 ・モバイル版「家庭教育Q&A」 【行政関係者情報】 ・生涯学習・社会教育担当者向けの情報 【その他】 ・生涯学習関連機関・施設等のリンク情報等
生涯学習情報紙の発行	適 宜	道民、市町村教育委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、生涯学習に関わるタイムリーな話題等を掲載した情報紙を発行する。

イ 学習相談

事業名	期 日	対 象	内 容
学習相談『まなびウイング』	月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00	道民、行政(市町村教育委員会等)、学校、各種団体(社会教育関係団体等)等	学習相談員等により道民の生涯学習活動支援のための学習相談を行う。 【相談場所】 ・生涯学習相談室(まなびウイング) 【相談方法】 ・面接による相談(直接来所) ・電話、ファクス、メール等文書による相談 【相談内容】 ・文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・各種事業、講師・指導者、資格・各種制度等 【情報の収集・整理・加工】 ・学習機会、指導者、団体・サークル、施設、資格等

ウ 家庭教育相談

事業名	期日	対象	内容
家庭教育相談 『子育て カウンセリング』	火～金曜日 13:00 ～ 17:00 面接予約 月～金曜日 9:00 ～ 17:00 (祝日、休日、年末年始 12月29日～1月3日を除く)	子育てに関する 不安や悩みを抱 く親等	臨床心理士による相談を行う。 【相談場所】 ・カウンセリング室 【相談方法】 ・原則として面接による相談 【相談員】 ・臨床心理士3名

エ 資料の収集、展示及び提供（情報交流広場（まなびの広場））（委託）

事業名	期日	対象	内容
ア 情報交流広場	通年	道民	道民カレッジに関わる相談や情報提供をはじめ、生涯学習に関する図書、資料、パンフレット等の展示及び提供、道内市町村・団体における生涯学習の取組や学習成果等を発表・紹介する場の提供を行う。
イ 道民カレッジ 情報コーナー	通年	道民	道民カレッジに関わる相談や情報提供を行う。 ・入学・称号手続き及び相談 ・講座受講の相談 ・ガイドブック、パンフレット、大学放送講座チラシ、連携講座関係資料等の提供
ウ 展示コーナー	通年	道民	道内市町村・団体における生涯学習の取組や学習成果等の発表・紹介を行う。 ・応募のあった市町村・団体の取組紹介及び作品展示
エ ふるさとコーナー	通年	道民	道内関係の情報図書をはじめ、市町村の広報誌やパンフレット、団体の文芸誌等の紹介及び提供を行う。 ・地方新聞 ・市町村広報紙、パンフレット ・文芸誌 ・北海道関係図書・資料
オ ビデオレファレンス コーナー	通年	道民	道民の申し出により、「大学放送講座」録画ビデオをはじめ、教養ビデオ・エルネット放送ビデオの試写を行う。

(4) 学習機会の提供

ア ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）本部事務局

項目	内容
受託者への指導・助言	総合評価競争入札により北海道立生涯学習推進センター業務（道民カレッジ事業を含む）を受託した業者に対する指導・助言
道民カレッジ主催講座の検討	『ほっかいどう学』大学放送講座』については、平成26年度からテレビ放送での提供を止め、インターネットやDVDを活用した形での学習コンテンツの作成・普及の方向で検討
ほっかいどう学検定の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどう学検定 インターネット受検の可能性も視野に入れながら、参加者層の拡大など、より多くの受検者が得られるような方策を検討 ・ほっかいどう学ジュニア検定 青少年教育施設で実施の方向で検討。センターのHPや放課後子ども教室などを活用して練習問題を出題するなどして意欲関心を高める方策を検討。

イ ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業（委託）

事業名	期日・場所	内容
ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業	—	<p>道民の専門的・多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びたいという意思」を唯一の入学資格とする「北海道の生涯学習の学園」 ・全道各地で開催されている講座をだれもが受講可能 ・自分が学びたい講座を選び、自分を高めるとともに、学習成果を地域等で活用
(ア) 主催講座 a 「ほっかいどう学」 大学放送講座	10月～11月 放送回数 14回 (予定)	<p>北海道の広域性を考慮し、テレビ放送講座を通して、どこでも誰もが学ぶことができる機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送回数：14回（7大学参加） (札幌大学、北海学園大学、北海道医療大学、北海道教育大学、北海道情報大学、北海道大学、北海道薬科大学) ・番組内容：「ほっかいどう学」をテーマとした内容
b 「ほっかいどう学」 地域活動推進講座	6月～3月 道内2ヶ所 (予定)	<p>地域の様々な機関との協働を進めるためのコミュニケーションスキルの向上を図る学習プログラムを市町村（広域を含む）や団体等との連携によって開発・実施し、もって地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する参画型の講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座回数：道内2ヶ所
(イ) 連携講座	通年 [前期 4～9月] [後期 10～3月] 全道各地	<p>道民カレッジの趣旨に賛同する高等教育機関や市町村、民間教育事業者やNPO団体等が、道民を対象に行う各種講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース「ほっかいどう学」「能力開発」「生活環境」「健康・スポーツ」「教養」の5コースに分類

(5) 教育メディアの利用促進

ア 視聴覚教育に関する教材の収集・整備

事業名	期日	対象	内容
視聴覚教材収集・整備事業	通年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。

イ 視聴覚教育に関する教材の貸出し（委託）

事業名	期日	対象	内容
視聴覚教材貸出事業	通年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を貸出し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。

5 広報計画

広報事項	事業名等	広報 定期 予 時 期 (月)	広報媒体等							
			傾 嬉 ・ チ ラ シ 遊	定 期 刊 行 物 発 行	新 聞 【 道 通 】	ホ ー ム ペ ー ジ	所 内 掲 示	語 言 媒 体 【 相 談 ・ 会 議 等 】	道 教 委 広 報 媒 体	そ の 他 の 媒 体
研修事業案内	・課題対応型学習活性化セミナー	8月	○		○	○	○	○		
	・生涯学習推進基本講座 道央会場 道南会場 道北会場 道東会場	未定 未定 未定 未定	○		○	○	○	○		
	・生涯学習推進専門講座	10月	○		○	○	○	○		
	・地域生涯学習活動実践交流セミナー	1月	○		○	○	○	○		
	・遠隔学習プログラム研修講座	9月	○		○	○	○	○		
	・研修団体受入事業	随時				○		○		
	・職員派遣事業	随時				○		○		
学習情報の提供	・ホームページ「生涯学習ほっかいどう」（北海道生涯学習情報提供システム）	年間			○	○		○		
	・生涯学習情報紙「北のまなび」	随時	○	○	○	○	○	○		
学習相談	・学習相談 「まなびウイング」	随時	○		○	○	○	○	○	
家庭教育相談	・家庭教育相談 「子育てカウンセリング」 「子育てワンポイントアドバイス」	随時	○		○	○	○	○	○	
学習機会の提供	・道民カレッジ事業	随時				○	○	○	○	
教育メディアの利用促進	・視聴覚教材貸出し	随時	○		○	○	○	○	○	

注：道教委広報媒体欄は、教育政策課（広報広聴G）所管の広報（教育ほっかいどう家庭版・WEB版、メールマガジン）への記事掲載を要望するものである。